

岩手大学獣医学部新設について

松田守弘[†]（公社神戸市獣医師会）



長年にわたって岩手大学学校関係者、農学部教職員等の獣医学部設置希望が、令和6年7月に文部科学省の設置認可がおり獣医学部共同獣医学科定員30名が誕生することになりました。獣医学部誕生おめでとうございます。

関係者の皆様方のご努力には感謝申し上げます。

謝申し上げます。

新獣医学部では、獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、下記のような人材の育成を目指します。

- 地球環境の保全を含め One Health に関する高度な専門知識を修得し、獣医学領域に関わる課題について論理的に判断できる人材
- 地球規模での感染症対策や畜産物の安全確保等に対して貢献できる知識を修得し、意欲を有する人材
- 高度な専門知識に基づいて修得した獣医学領域で必要な技能を実践でき、論理性と倫理性を兼ね備えた行動規範を身につけた人材

このような新しい時代に対応できる人材育成に励んでいますので、皆様方のご理解ご協力を一層お願いします。今回のような学部改組には今まで大きな編制と歴史がありました。獣医学科は明治時代の当初は3年制でスタートし、戦後の大学昇格により4年制で推移し、後に現在のように6年制となりました。ただ獣医学科6年制に移行には岩手大学農学部獣医科卒業生らのご尽力により達成できました。

その頃はまだ現役獣医師として神戸市役所で勤務していたどの様な教育目的があり獣医学6年制が新しく発足したかよく知りませんでしたが、五十嵐幸男（盛岡高等農林学校獣医科昭和13年卒業）元日本獣医師会会長からの寄稿文を初めて知り、この岩手大学農学部北水会報を大事に仕舞いこんでいました。自分が70歳になることを機に、断捨離をばつばつ始めていましたら、押し入れの箱の中に仕舞いこんでいたこの会報も見つけ、どうしても気になり、中村 寛博士顕彰碑を訪問するこ

とを決めました。訪問するにあたって、当時の生き証人（記念写真に写っている4名）の方に、経緯や経過等を聞きたいと考えていましたが、残念ながらもう3名とも鬼籍となり、難しいことがわかりました。

ただし獣医師の個人的な繋がりでの縁で、山口県獣医師会の酒井 理常務理事や中間實徳山口大学名誉教授（元山口県獣医師会会長）そして島根県浜田市教育委員会 文化振興課文化財係の川本祐二さんたちにいろいろとお世話になり貴重な資料を提供していただき大変助かりました。この場を借りてお礼申し上げます。

令和6年11月15日（金）から17日（日）にかけて島根県浜田市に滞在して中村 寛博士顕彰碑を訪ねることにしました。初めての浜田市訪問で広島県広島市までは新幹線新神戸駅からひかりに乗りして広島駅からは高速バスではるばる浜田駅までやって来ました。聞けば昔TV番組で東京駅から新幹線や在来線、バス等を利用して全国津々浦まで行く番組でしたが、本州の中ではどうやらここ島根県浜田市は東京から最も到達時間がかかる辺境地だと当時いわれていました。個人的には青森県最北端が辺境地と思っていましたが、浜田市は確かに辺境地のようだが、島根県東部地区内では人・金・物が経済的に回っていました。第二次世界大戦前の昭和9年に盛岡高等農林学校を卒業した大先輩中村 寛さんは当時どのようにしてはるばる島根県浜田市から受験のために岩手県盛岡市に来盛したのだろう。当時の苦労と列車旅の大変さが伝わってくるようでした。

ここで余談ですが、今回の浜田市訪問にあたり浜田市役所教育委員会文化財担当課の職員川本さんから浜田市教育委員会発行の「浜田市の人物読本 ふるさとの50人」を購入して、50人の中にノミネートされた中村 寛さんの記事を参考にして生い立ち、その後の人生を少しでも理解できました。

また浜田市教育委員会ではこの「浜田市の人物読本 ふるさとの50人」を市内の小学校では授業の副読本として採用・配布して郷里浜田の偉人について学んでいます。

このふるさとの50人の記事によると、中村 寛さん

[†] 連絡責任者：松田守弘（公社神戸市獣医師会）

〒651-0083 神戸市中央区浜辺通4-1-23 三宮ベンチャービル内525号

☎078-231-1675 E-mail: matsuda-hyogokobe20241103@iris.eonet.ne.jp

は島根県立浜田中学校（今の浜田高校）5年生の時に軍の獣医師をしている先輩に勧められて盛岡高等農林学校農獣医学科に受験・入学しました。

盛岡高等農林学校卒業後には農林省の獣医師として勤務しその後陸軍の獣医師将校として軍務につき終戦後にソビエト連邦軍に拘束され収容所に2年間過ごしましてやっと日本に帰国できました。収容所生活では7千人余りの糞尿処理を中村 寛獣医将校とその元部隊隊員64人たちで毎日2 km 離れた川に運んでいました。収容所の人たちは中村 寛さんたちの行為に大変感謝したそうです。

また獣医将校時代に苦勞して書き上げた研究論文が戦後届けられて、知人の医師にも助けられて医学博士号を取得しました。その後大阪府や日本獣医師会会長を務めて、獣医師4年制から6年制に変える法律を制定したり、「保健所法」による技術職員名に獣医師を追加したりしました。

さらに中村 寛さんは近畿地区の浜田高校の同窓会会長を務めていて、大阪でサッカーや野球の全国大会があるときには選手団の迎えや宿の案内まで世話をしていました。そして浜田市の子どもたちの就学支援のために多額の寄付もしていました。具体的には浜田市に【中村 寛・倭文子（夫人）奨学基金】を設立する等広く社会貢献を努めていて、浜田市民名誉市民の称号も受贈されていました。

よって浜田市の県立自然公園内に城山公園^{じょうざんこうえん}の一角に立派な中村 寛博士 顕彰碑が^{じょうざんこうえん}社島根県獣医師会の発起により建立されました。

具体的には元島根県獣医師会会長 藤田 忍様、副会長 白石清則様、同 田形和敏様、常務 吉野精一様、元山口県獣医師会会長（元中国地区獣医師会会長）中間



實徳様、元浜田市長 宇津徹男様など全国都道府県政令市の55カ所の獣医師会や獣医師会会員らの募金そしてご尽力によりこの顕彰碑が建立されました。現在は城山公園の主要場所に他の顕彰碑と並んで建っていましたが公園訪問者がどれだけこの碑の意味を感じ取ってくれたかは不明です。最後ですが岩手大学大先輩の一人が後輩たちのために大変は苦勞をして、獣医学教育に尽力されたことを痛感しました。